

霞ヶ浦のプランクトン

～ 目に見えない小さな生き物たち ～

霞ヶ浦の水の中には、小さな生き物の世界が広がっています。植物プランクトンと動物プランクトンたちの世界です。彼らは目に見えないほど小さいのですが、霞ヶ浦の水質や生態系に大きな影響を与えていることが知られています。

プランクトンとは「水中を漂う生物」のこと。植物と動物に分けられます。

植物プランクトン

光合成をするものを、植物プランクトンといいます。霞ヶ浦には、350種類以上の植物プランクトンがいます。

珪藻綱 ケイ素を含む殻をもっています。その形から「中心目」と「羽状目」に分けられます。	藍色細菌(藍藻)綱 アオコやカビ臭などで人間社会に悪影響を及ぼす種類もあります。
・中心目 アウラセイヤ属	・羽状目 シネドラ属
緑藻綱 種類が豊富で、様々な形のものがあります。	褐色鞭毛藻綱 大量発生することがあります。
・ユレモ目 プランクトスリックス属	・クロオコックス目 ミクロキスティス属
 クンショウモ属	 クリプトモナス属

動物プランクトン

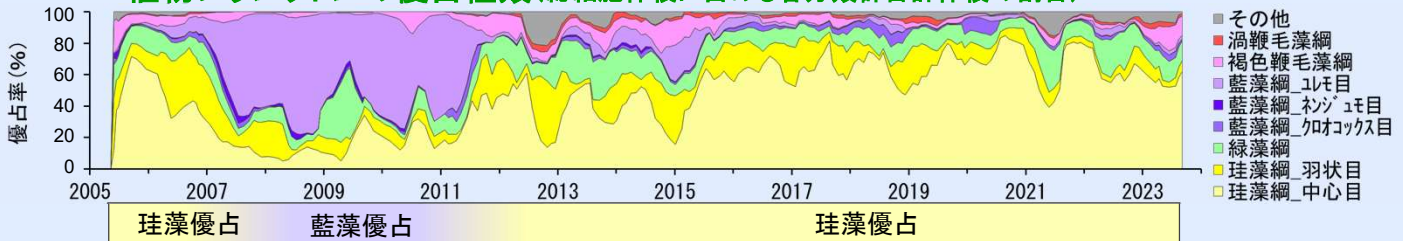
光合成をしないものを、動物プランクトンといいます。霞ヶ浦には、150種類以上の動物プランクトンがいます。

繊毛虫門 単細胞生物。繊毛で細菌などを捕食します。	輪形動物門 多細胞生物。植物プランクトンなどを食べます。	節足動物門 昆虫を含む大きなグループ。ミジンコのなかまなどがいます。
 スナカラムシ属	 カメノコウラムシ属	 ソウミジンコ属 ケンミジンコ属 (幼生)

霞ヶ浦には、どんなプランクトンが多い？

霞ヶ浦(西浦)湖心の変動を示します(7カ月の移動平均で示しています)。優占する種類は長期的に変動し、近年では、植物プランクトンでは珪藻綱が、動物プランクトンでは輪形動物門が優占傾向であることがわかります。

植物プランクトンの優占種類(総細胞体積に占める各分類群合計体積の割合)



動物プランクトンの優占種類(総個体数に占める各分類群合計個体数の割合)

